

ジョイントシンポジウム開催にあたってのご挨拶

九州シンクロトン光研究センター
所長 上坪 宏道

早稲田大学 ナノ理工学研究機構
機構長 大泊 巖

2006年度に、佐賀県と早稲田大学とが「協働連携に関する基本協定」を締結したことを踏まえ、今般、九州シンクロトン光研究センターと早稲田大学ナノ理工学研究機構は、“シンクロトン放射光とナノテクノロジー”と題してジョイントシンポジウムを開催することと致しました。

九州シンクロトン光研究センターは、佐賀県が「新産業創造、地域産業の高度化に向けたアジアワイドの高輝度光産業開発交流拠点」をコンセプトに設置した施設で、シンクロトン光の産業利用を目指した活動を行なうと共に、文部科学省の平成19年度採択「先端研究施設共用イノベーション創出事業ナノテクノロジー・ネットワーク事業」(“シンクロトン放射光を用いたナノ計測・分析支援”を担当)を実施しております。このジョイントシンポジウムでは、これらの活動を紹介すると同時に、ナノテクノロジーを共通の基盤として、早稲田大学のみならず広く産官学の研究者・技術者との討論を通じて、一層の技術の伸展や人的交流の一助となることを期待しております。

一方、早稲田大学では、文部科学省の平成18年度採択「私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業」(課題名：“分子ナノ工学を基盤とした高機能ナノデバイスシステム”)および平成19年度採択「先端研究施設共用イノベーション創出事業ナノテクノロジー・ネットワーク事業」(当大学は“カスタムナノ造形・デバイス評価支援”を担当)をベースに、先端ナノテクノロジーの研究開発活動のご報告をすると共に、かねてより実施しております、ナノテクノロジーに関する産官学交流の場“早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム”の研究部会(機能無機材料部会、情報機能材料部会、マイクロ/ナノフォトニクス部会、ナノ構造システム部会、ナノマイクロセンシングシステム部会、バイオマイクロシステム部会、研究交流部会)の活動の紹介、さらに、このナノテクノロジーフォーラムの活動の一環であるジョイントフェア(企業からの発表・展示と大学からの発表・展示)の開催を併せて行います。

ナノテクノロジーの先端は日々拡大深化し、その応用分野も多岐にわたっております。それだけにこの分野の発展には、多分野の研究者・技術者の参画による多面的討論が不可欠です。ナノテクノロジーを核とした、九州シンクロトン光研究センターと早稲田大学ナノ理工学研究機構との連携による本企画は、皆様のご活動の発展を支援するものと確信しております。このジョイントシンポジウムをナノテクノロジーに関する“多面にわたる熱い討論の場”としてご活用下さり、この分野の更なる発展にご協力賜りますことを切に願っております。